

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年7月12日(2012.7.12)

【公開番号】特開2010-269042(P2010-269042A)

【公開日】平成22年12月2日(2010.12.2)

【年通号数】公開・登録公報2010-048

【出願番号】特願2009-124847(P2009-124847)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 7 1

A 6 1 B 6/03 3 3 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月23日(2012.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検体にX線を照射するX線源と、

前記X線源に対向配置され前記被検体を透過したX線を検出するX線検出器と、

前記X線源と前記X線検出器の間に配置される前記被検体を前記被検体の体軸方向に移動させる寝台と、

前記被検体の体軸方向に前記寝台を移動させながら、前記X線源から前記被検体にX線を照射させ、前記X線検出器により検出された前記被検体を透過したX線をX線透過データとして収集し、収集された前記X線透過データに基づいて前記被検体のスキャノグラム像を生成するスキャノグラム像生成手段を備えたX線CT装置であって、

前記スキャノグラム像生成手段は前記寝台の等速期間とともに加速期間または減速期間においてもX線透過データを収集することを特徴とするX線CT装置。

【請求項2】

請求項1に記載のX線CT装置において、

前記スキャノグラム像生成手段は前記寝台の加速期間または減速期間の移動速度に応じてX線透過データを収集するタイミングを制御することを特徴とするX線CT装置。

【請求項3】

請求項2に記載のX線CT装置において、

前記寝台の移動速度に応じて前記X線源が照射するX線量を制御する制御手段をさらに備えることを特徴とするX線CT装置。

【請求項4】

請求項3に記載のX線CT装置において、

前記制御手段は、前記寝台が等距離移動する間に被検体に照射されるX線量が実質的に等しくなるように加速期間または減速期間に前記X線源が照射するX線量を制御することを特徴とするX線CT装置。

【請求項5】

請求項2に記載のX線CT装置において、

前記スキャノグラム像生成手段が生成したスキャノグラム像を表示する表示装置をさらに備え、

前記表示装置は、前記スキャノグラム像とともに前記寝台の移動速度の速度カーブを表示することを特徴とするX線CT装置。

【請求項6】

請求項3に記載のX線CT装置において、

前記スキャノグラム像生成手段が生成したスキャノグラム像を表示する表示装置をさらに備え、

前記表示装置は、前記スキャノグラム像とともに前記X線源を流れるX線管電流の波形を表示することを特徴とするX線CT装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上記目的を達成するために、本発明は、被検体にX線を照射するX線源と、前記X線源に對向配置され前記被検体を透過したX線を検出するX線検出器と、前記X線源と前記X線検出器の間に配置される前記被検体を前記被検体の体軸方向に移動させる寝台と、前記被検体の体軸方向に前記寝台を移動させながら、前記X線源から前記被検体にX線を照射させ、前記X線検出器により検出された前記被検体を透過したX線をX線透過データとして収集し、収集された前記X線透過データに基づいて前記被検体のスキャノグラム像を生成するスキャノグラム像生成手段を備えたX線CT装置であって、前記スキャノグラム像生成手段は前記寝台の等速期間とともに加速期間または減速期間においてもX線透過データを収集することを特徴とする。